

長野市温湯地区温泉利用施設の整備等に関するPFI事業推進チームメンバー（案）

役職名	氏 名	内 線	備 考
商工部長	荒井 保雄	3200	リーダー
総務部庶務課長	戸井田 易	2130	
総務部若穂支所長	増田 博志	282-2400	
企画政策部企画課長	米倉 秀史	2310	
財政部財政課長	松橋 良三	2410	
財政部契約課長	松木 久芳	2420	
財政部管財課長	伝田 彰雄	2430	
保健福祉部高齢者福祉課長	関 正広	2820	
保健福祉部長野市保健所健康課長	宮澤 邦博	226-9960	
商工部商工課長	鈴木 栄一	3210	
商工部観光課長	倉島 武治	3220	サブリーダー
建設部建築課長	栗原 健爾	3350	

事務局：商工部観光課

長野市におけるPFI事業の取り組みについて

1 平成11年度

- ・PFI法の成立

2 平成12年度～13年度

(1)長野市PFI研究プロジェクト・チームについて（事務局：企画課）

- ・平成12年に庁内の関係職員（事業課の係長級）で構成する研究チームを発足
- ・研究会を4回開催
- ・講演会の開催（日本PFI協会専務）、先進地視察等の実施
- ・報告書の作成

(2)研修会等の参加

3 平成14年度

(1)長野市PFI事業導入可能性調査の実施（企画課）

- ・温湯温泉市民センター・若穂老人福祉センター複合施設について、PFI導入の可否を判断するため、可能性調査を実施
- ・指名競争入札により委託先を決定
- ・委託先 パシフィックコンサルタンツ（株）
- ・委託期間 平成14年8月21日～平成15年3月31日
- ・業務内容 前提条件の整理、事業スキームの検討、意向調査の実施、VFMの算出

(2)先進地視察・勉強会の実施

- ・日立市、千葉市のPFI事業の取り組みを視察
- ・長野県の主催による勉強会に参加

4 平成15年度

(1)温湯の案件についてPFI導入を検討（4月～9月）し、導入を決定

(2)PFI事業推進プロジェクトチームの設置（10月）

(3)PFI関連予算（補正予算）の審議（12月）

(4)事業者選定審査委員会の設置（1月）

(5)PFI事業推進チームの設置（1月）

経過

- 昭和50年度 観光施設として観光課が所管、長野市開発公社と温湯温泉市民センター管理運営委託契約を締結。(ただし、老人憩いの家利用券持参者は、老人憩いの家利用料金で入浴可能)
- 昭和60年以降 区長会、温湯温泉開発期成同盟会等から、温湯温泉市民センターの老朽化、軟弱地盤のための建物の劣化等の理由により、新たな源泉掘削と綿内地区の活性化に向けた施設整備要望あり。
陳情6回 緑のテーブル4回 議会質問 6回
- 平成10年度 温泉スタンド設置
- 平成11年度～ 温湯温泉新源泉等利用検討委員会設置(9部12課)開催回数2回
" 作業部会設置(9部14課)開催回数3回
- 平成12年度 10月6日 高齢者福祉課から老人福祉センター併設の提案
10月24日 市長了解(但し施設設置はこれが最終)
11月6日 若穂みどりのテーブルにおいて、市長及び区長会長が挨拶の中で老人福祉センター併設について説明
- 平成13年度 地盤調査
- 平成14年度 PFI事業導入可能性調査開始
6月6日 期成同盟会常任委員会にて地盤調査報告、現地調査水路、急傾斜地等の問題により、別の平地での建設について可能性の調査依頼を受け、現敷地と別の平地での二案の提案を求められる。
9月13日 期成同盟会常任委員会に二案提示
検討の結果、別の平地を候補とし総会に提案する
10月10日 期成同盟会総会において、別の平地への建設を決定
12月17日 期成同盟会および綿内区長会から市長要望
東山工業団地内に当該施設の設置を要望
3月末日 PFI事業導入可能性調査報告
- 平成15年度 5月28日 開発期成同盟会 総会 開催
建設位置を東山工業団地内とし、17年度中に建設、現施設は15年度中廃止の3点について確認
6月16日 綿内地区東山工業団地分譲検討委員会開催
温泉施設利用の承認
9月1日 部長会議に於いてPFI方式による建設を決定
9月10日 開発期成同盟会常任委員会 開催
温泉施設建設の、施設概要および実施体制、スケジュールについて報告